



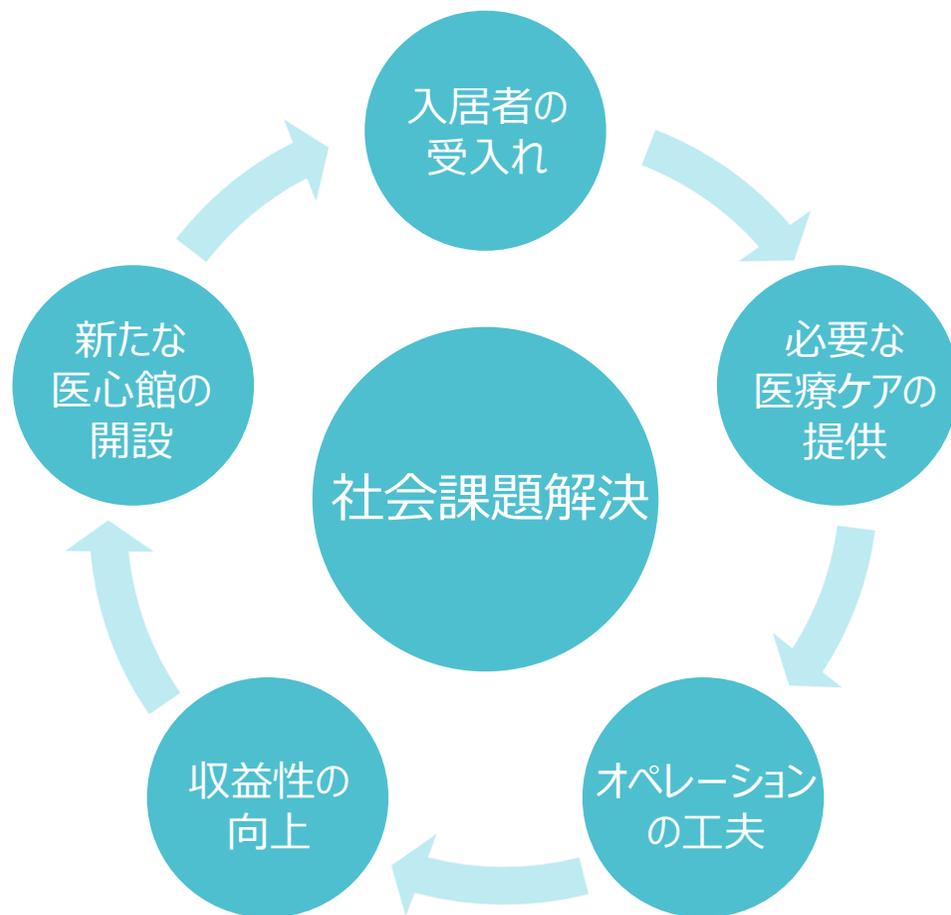
2024年9月期第1四半期

決算ハイライト

株式会社アンビスホールディングス

2024年2月8日

社会課題解決型事業



国により入院日数の短縮と在宅への復帰が推し進められているなか、退院後の行き先にお困りのことが多い、がん末期の方、人工呼吸器の装着や気管切開で呼吸管理が必要な方、そして神経変性疾患を患う方などを、医心館は積極的に受け入れてきました。そして、これまで担当されてきた主治医やケアマネジャーの継続を原則とするなど、地域医療がよりうまく機能するためのサポーターであることを意識してきました。

私たちは、地域医療の一翼となるべく、医心館事業の更なる拡大を目指すとともに、医心館事業で得たノウハウや人財を活かし、疲弊した医療機関や介護事業者を様々な形でサポートすることにより、地域医療の強化・再生へ一層貢献していきたいと考えています。

私たちの事業が、地域医療の活性化、医療従事者の疲弊軽減、医療の地域間格差の緩和の医療課題解決の一助になり、国の目指す医療介護制度の充実に寄与することを目指します。

24年9月期第1四半期業績

(第1四半期実績) 売上高

95.3億円

(通期予想) 売上高

426.3億円

(通期予想対比進捗率 : 22.4%)

(第1四半期実績) EBITDA⁽¹⁾

30.2億円

(EBITDAマージン : 31.7%)

(通期予想) EBITDA

123.4億円

(通期予想対比進捗率 : 24.5%)

注 :

1. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 株式報酬費用 (後頁同様)

- 既存施設の稼働率は安定稼働の目安である82~85%に近い水準（86.4%）で推移し、新規施設の立ち上がりも堅調であることを踏まえ、第1四半期の業績は通期予想対比で堅調に推移
 - ✓ 売上高：95.3億円（通期予想対比進捗率：22.4%）
 - ✓ EBITDA：30.2億円（通期予想対比進捗率：24.5%）
 - ✓ 当期純利益：18.1億円（通期予想対比進捗率：25.1%）
- 第1四半期は、計画通り6施設の開設を実施し、23年12月末時点において、82施設（定員4,098名）を運営。第2四半期には、東京都の3施設を含む5施設を新規開設予定
 - ✓ 24年9月期：西日本の5施設を含む28施設の新規開設及び1施設の増床を予定
 - ✓ 25年9月期：既に9施設の開設を公表し、3ヶ年計画で掲げた年間28施設の開設目安、及び25年9月末の目標である131施設（定員6,621名）の到達に向けて、今後も開設確定次第、順次公表予定
- 2024年度介護報酬改定、診療報酬改定による当社の業績への影響は、両制度の改定の詳細が判明次第、公表予定
 - ✓ 改定後の介護報酬は24年4月以降、診療報酬は24年6月の算定から反映
 - ✓ 処遇改善加算は、売上及び人件費に同額計上されるため、利益には影響せず

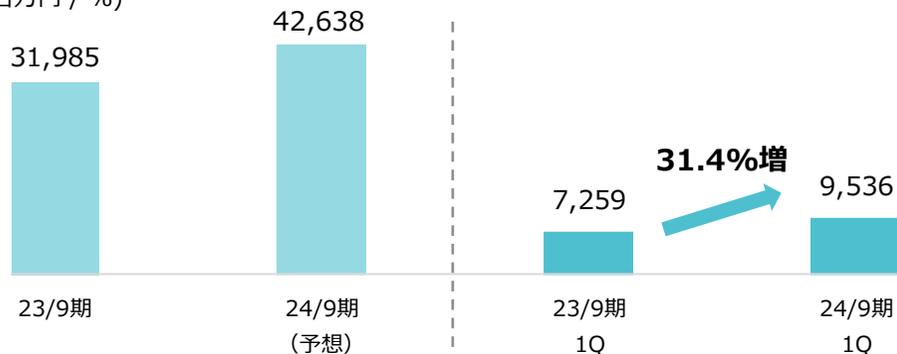
施設数・定員数の増加に伴い、売上・利益も着実に増加

- 前年同期末以降、施設数は17施設増加、定員数は約29%増加し、売上高も比例して増加
- 通期予想対比進捗率は売上高（22.4%）、EBITDA（24.5%）、親会社株主に帰属する当期純利益（25.1%）のいずれも順調

第1四半期実績及び通期予想に対する進捗

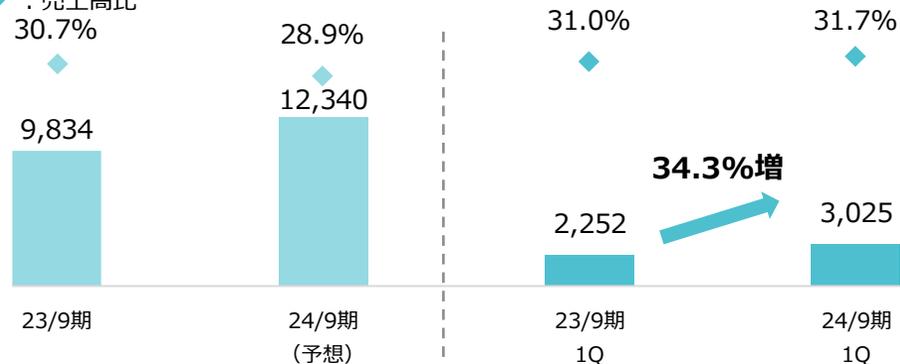
売上高

(百万円 / %)

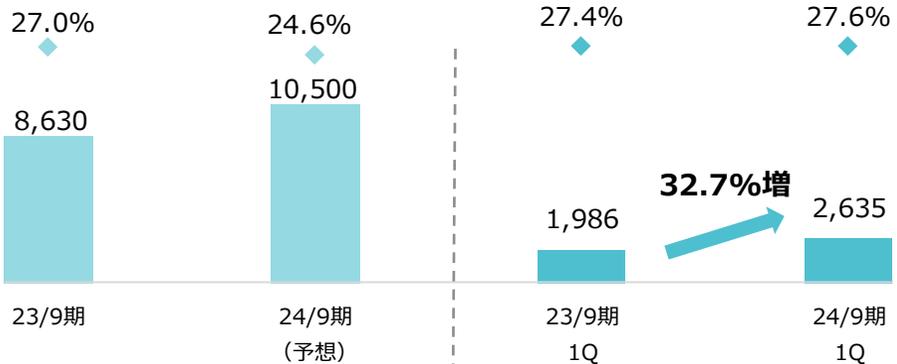


EBITDA

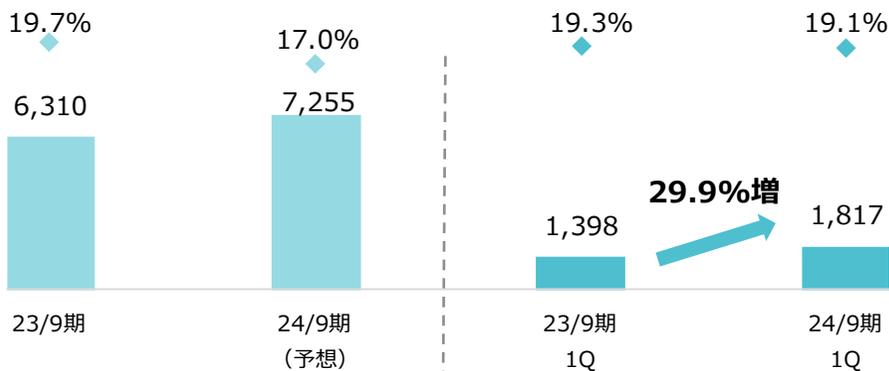
◆ : 売上高比



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

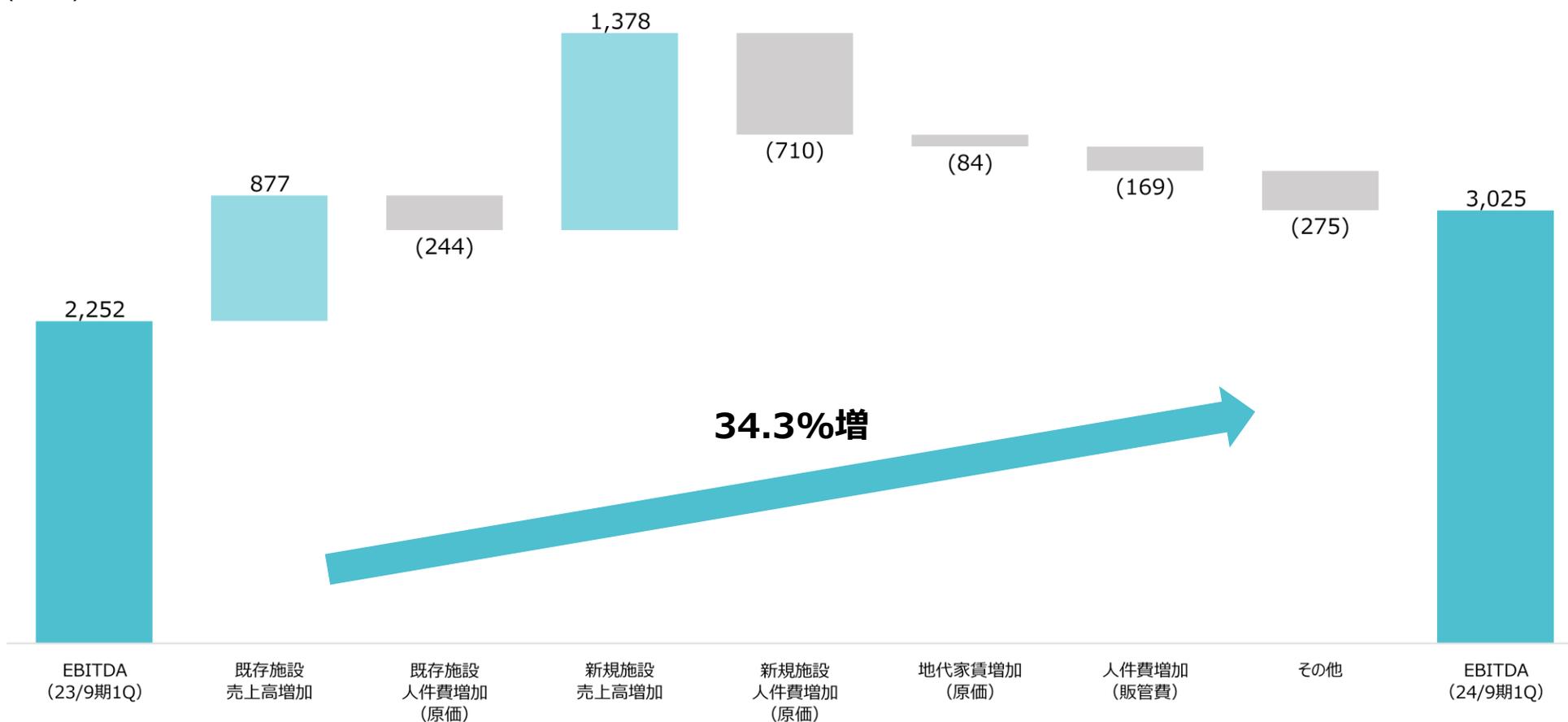


既存施設・新規施設共に稼働率は安定して推移

- 既存施設の稼働率（86.4%）、新規施設の稼働率（50~55%）⁽¹⁾ともに順調に推移

EBITDA推移（23年9月期第1四半期 – 24年9月期第1四半期）

(百万円)



注：

1. 新規施設：23/9期第1四半期末にて未開設の施設 / 稼働率：中央値

西日本の各地方で開設を決定

- 24年9月期の関西・中国地方に加え、25年9月期には九州・四国地方でも開設を決定
- 日本全国幅広い地域において、高いニーズを背景に在宅医療のプラットフォームとして機能

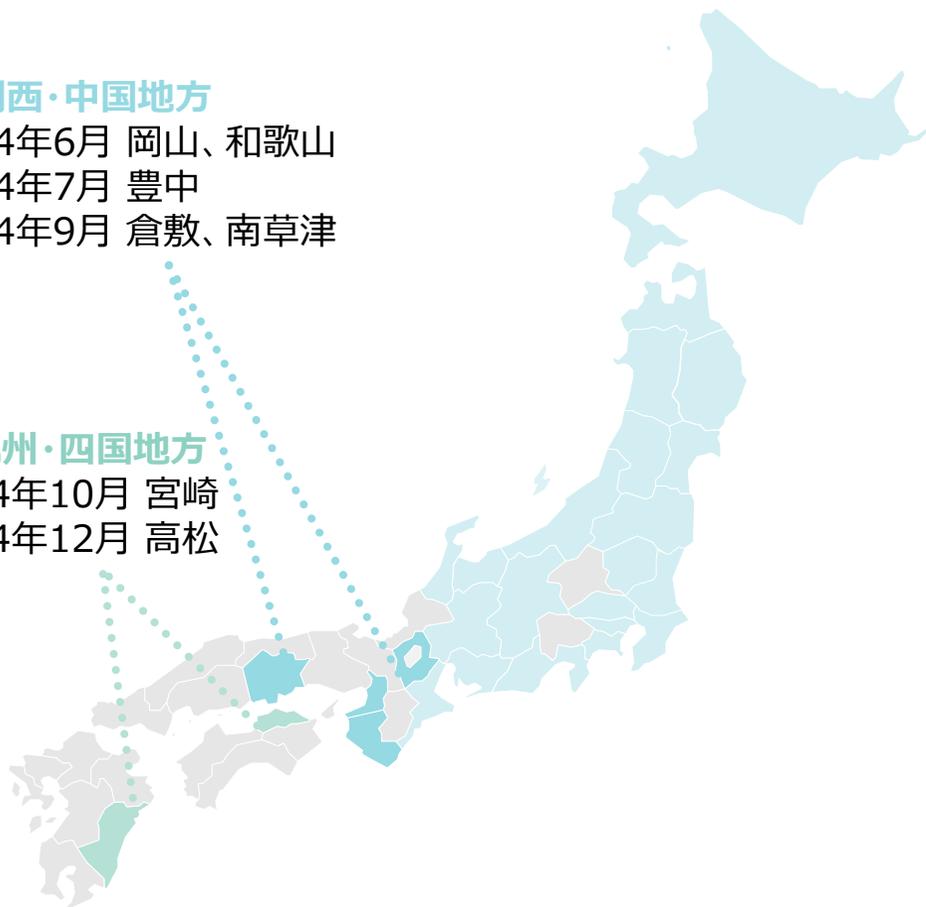
西日本での開設拡大

関西・中国地方

24年6月 岡山、和歌山
24年7月 豊中
24年9月 倉敷、南草津

九州・四国地方

24年10月 宮崎
24年12月 高松



24年9月期：関西・中国地方進出

- 首都圏、中京圏でのドミナント展開に続き、西日本での展開の足掛かりとして、関西・中国地方での開設を決定
- 関西では和歌山・豊中・南草津、中国では岡山・倉敷と、24年9月期中に5施設を開設予定

25年9月期：九州・四国地方進出

- 九州では宮崎、四国では高松での開設を決定し、本州以外の地域でも展開
- 今後も、東日本に限らず日本全国において、大都市と地方都市での展開を継続

- 24年9月期は、28施設の新規開設及び1施設の増床（計1,453名）を予定
- 今後も、首都圏におけるドミナント展開を中心に、西日本を含む日本全国で開設を加速

23年10月以降の開設計画（24年9月期）

開設時期	開設場所	総定員数 (名)
23年10月	大井町	59
23年11月	大曽根、金沢、豊田	143
23年12月	琴似、多治見	101
24年2月	西永福、西荻窪、南越谷、水戸（増床）	188
24年3月	佐倉、目白	93
24年4月	熊谷、小手指、藤枝	151
24年5月	市原、大垣	92
24年6月	一宮、岡山、和歌山	148
24年7月	海老名、豊中、両国	174
24年8月	高岡、千種、日吉	140
24年9月	亀戸、倉敷、南草津	164

全国の医心館



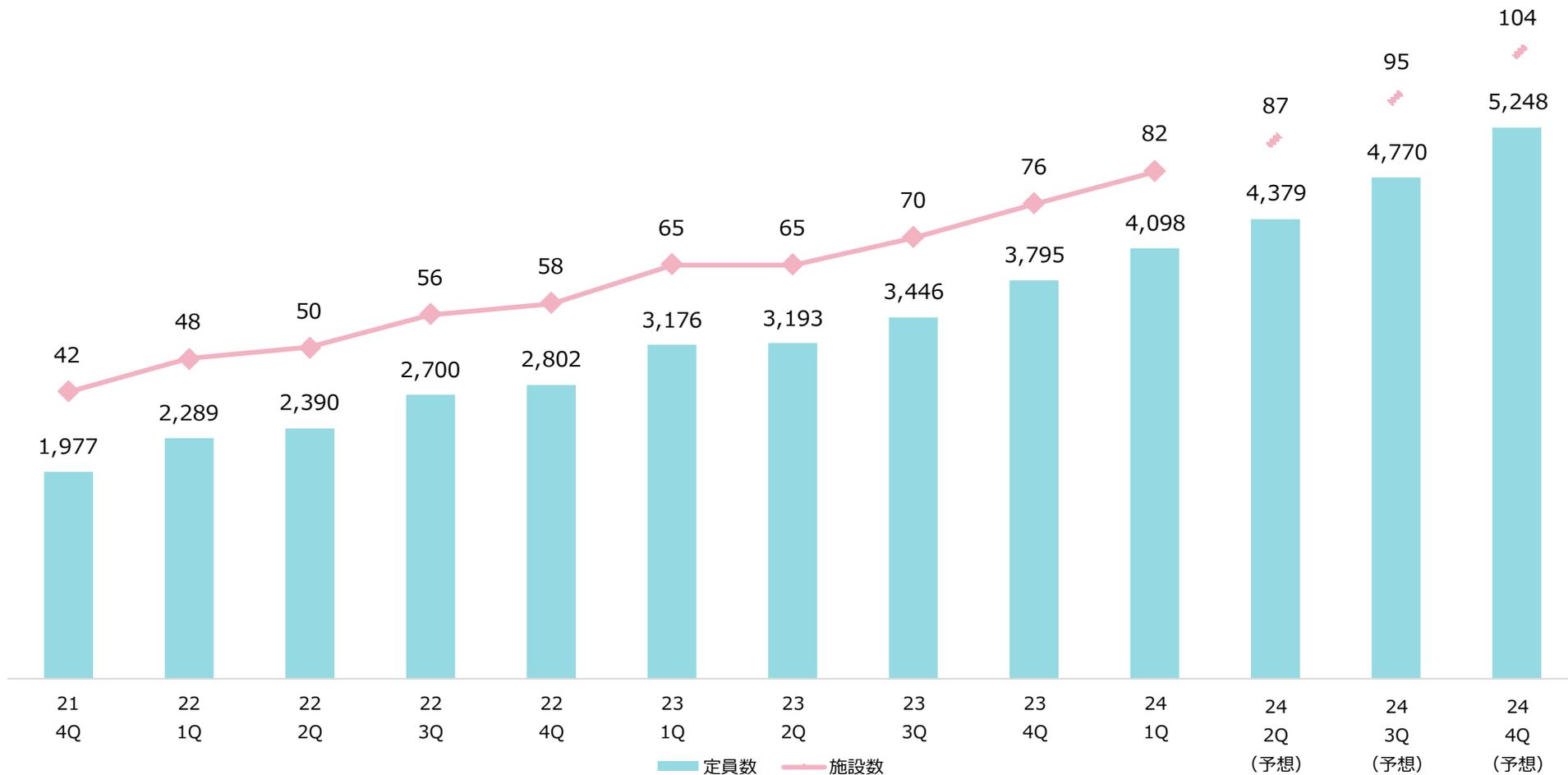
注：

1. 総定員数は、複数施設の定員数を合計したもの

四半期業績推移 - 施設数 / 定員数

施設数 / 定員数の推移

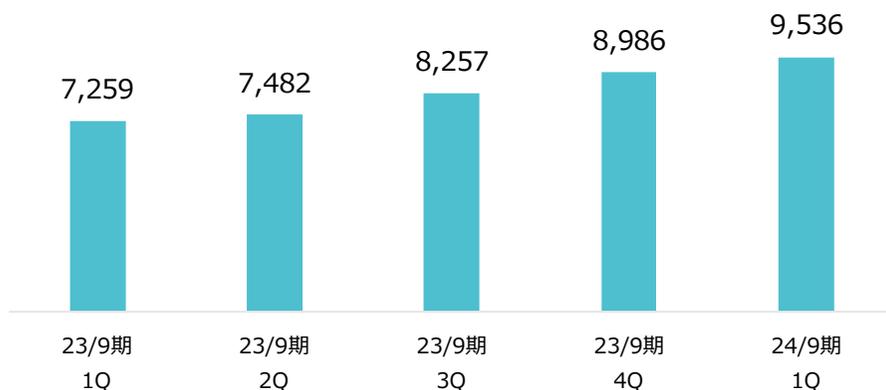
(施設 / 名)



直近1年間四半期業績推移

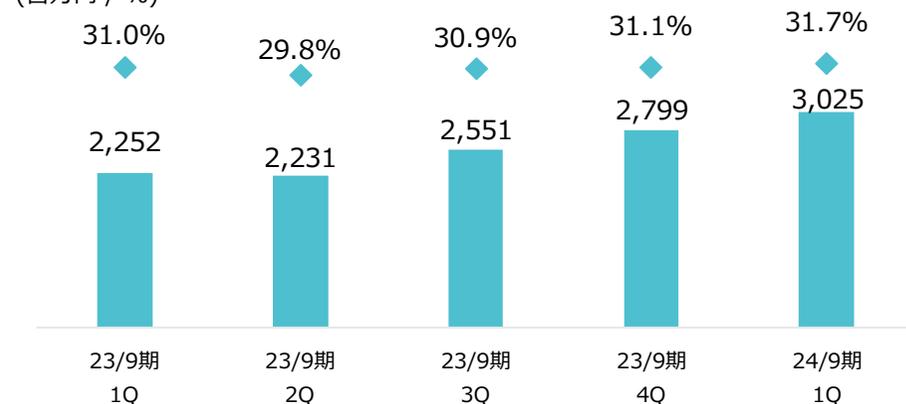
売上高

(百万円)

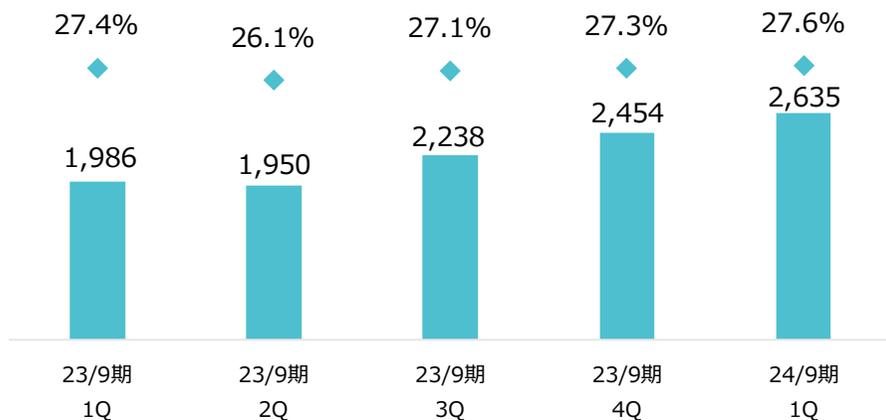


EBITDA

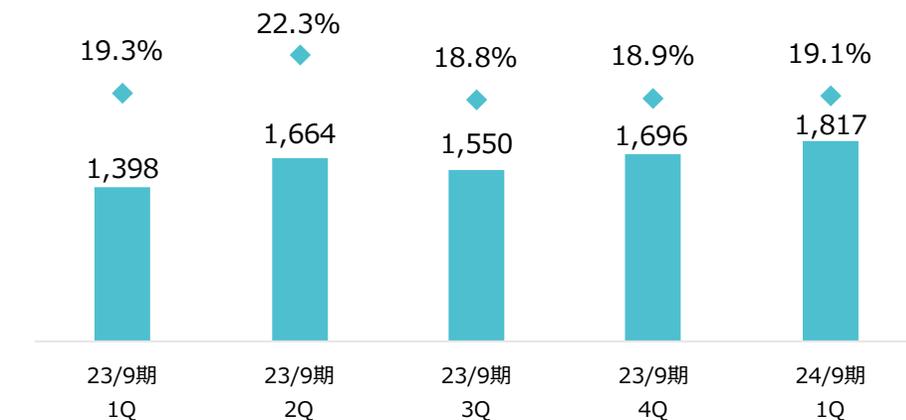
(百万円 / %)



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

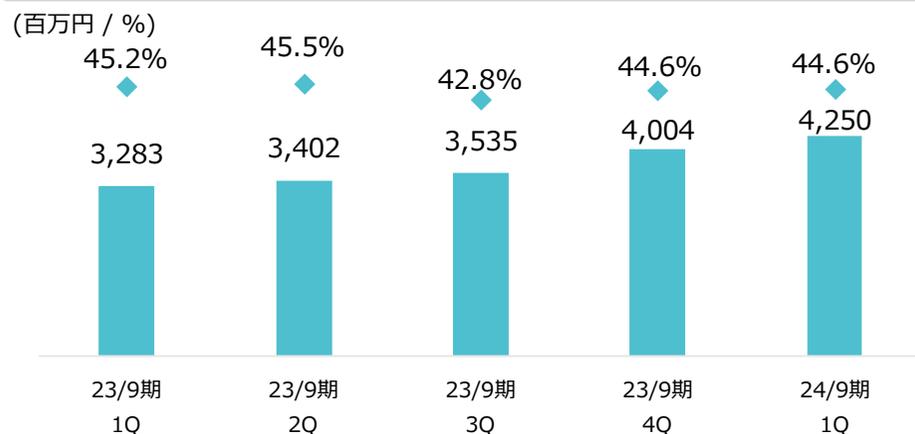


◆ : 売上高比

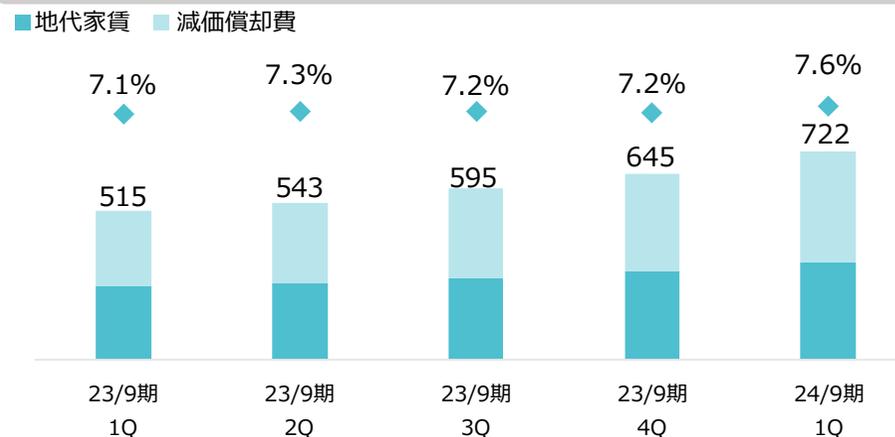
四半期業績推移 – 主要売上原価 / 販管費

直近1年間四半期業績推移

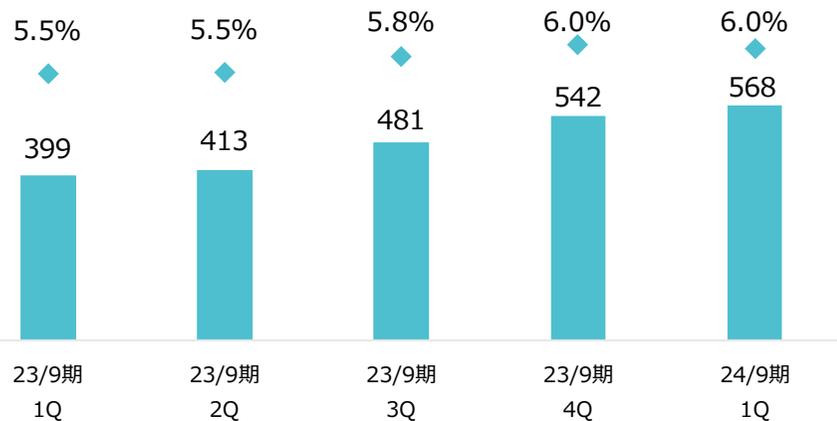
人件費（売上原価）



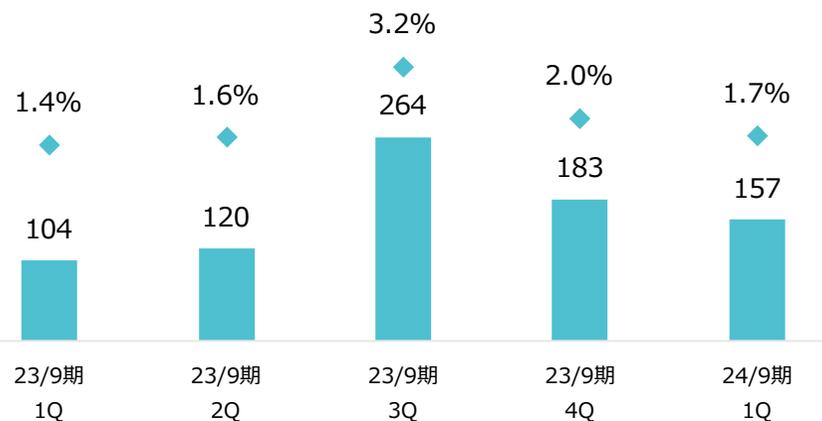
地代家賃及び減価償却費（売上原価）



人件費（販管費）



採用費（販管費）



◆ : 売上高比

財政状態概要

(百万円 / %)	22/9末	23/9末	23/12末	対23/9末 増減
資産	41,767	55,559	58,197	+4.7%
現金及び預金	11,342	12,128	9,502	(21.7%)
建物及び構築物（純額）	14,322	21,151	23,184	+9.6%
負債	21,308	29,036	30,147	+3.8%
借入金	12,711	17,394	19,052	+9.5%
純資産	20,458	26,523	28,049	+5.8%
自己資本比率	49.0%	47.7%	48.2%	+0.5pt



参考資料

Amvis 2025目標

(25年9月末) 施設数 / 定員数

131施設 / 6,621名

24年9月末 (予想) : 104施設 / 5,248名
23年9月末 (実績) : 76施設 / 3,795名
22年9月末 (実績) : 58施設 / 2,802名

(25年9月期) 売上高

565億円

24年9月期 (予想) : 426億円
23年9月期 (実績) : 319億円
22年9月期 (実績) : 230億円

(25年9月期) EBITDA

166億円

24年9月期 (予想) : 123億円
23年9月期 (実績) : 98億円
22年9月期 (実績) : 69億円

(22-25年) 当期純利益 年平均成長率

25%以上

20年9月期-23年9月期 (実績) : 72%

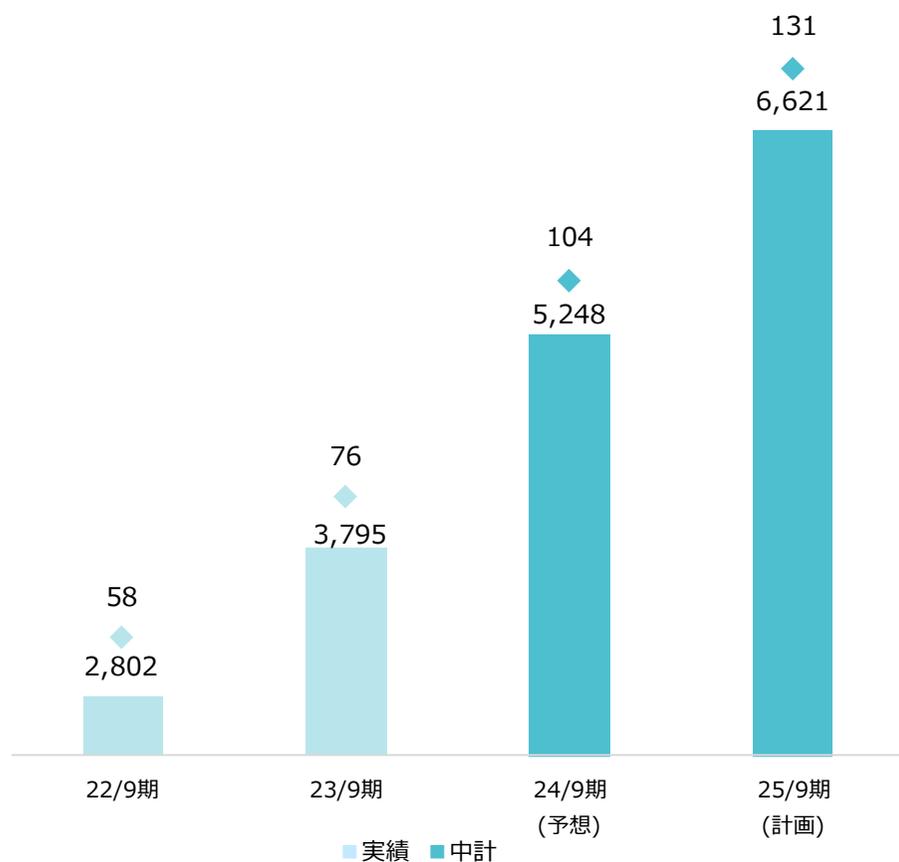
注:

1. 24年9月末 (予想) の施設数 / 定員数について、詳細は8頁参照

Amvis 2025目標

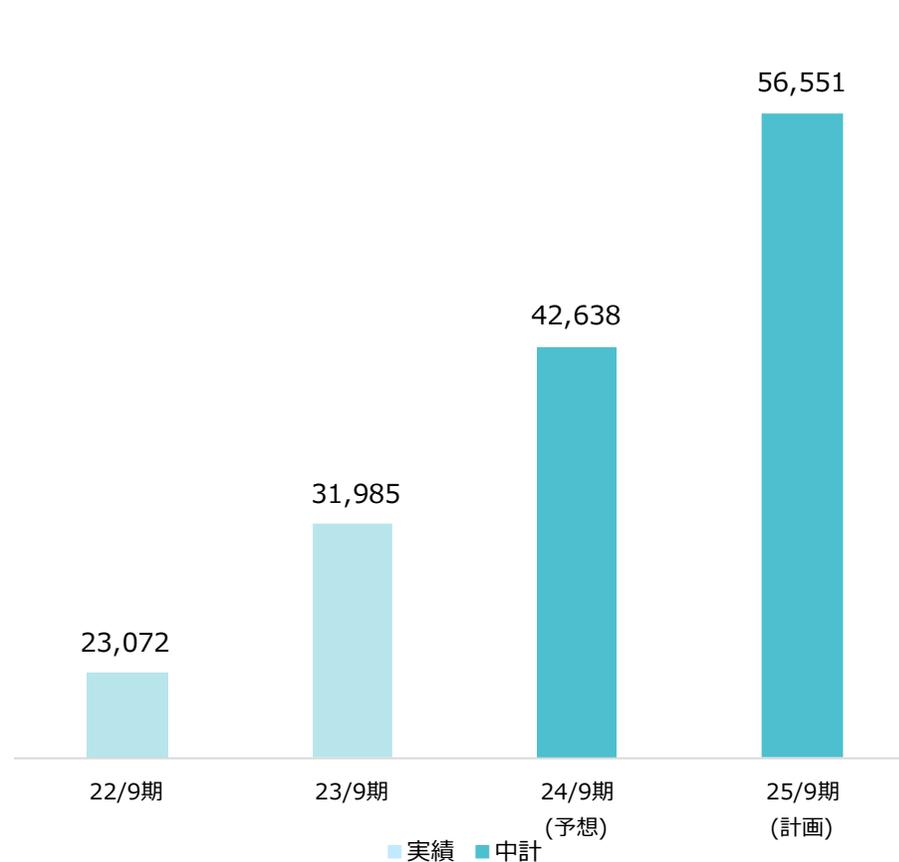
施設数 / 定員数

(施設 / 名)



売上高

(百万円)



注：

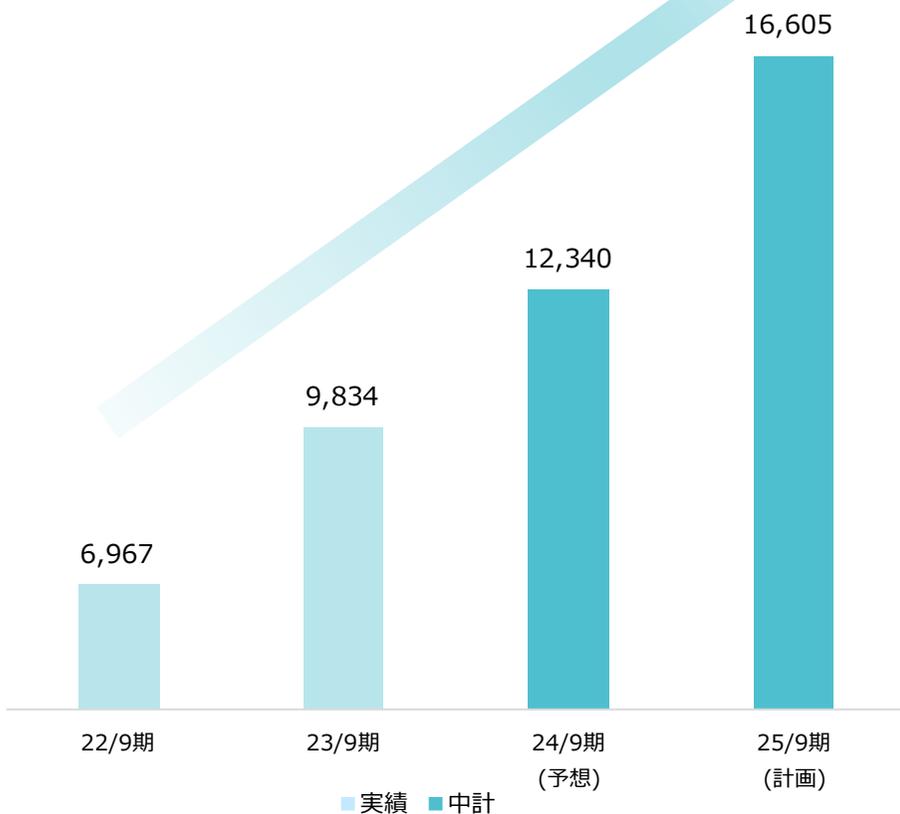
1. 24/9期 (予想) の施設数 / 定員数について、詳細は8頁参照

Amvis 2025目標

EBITDA

(百万円)

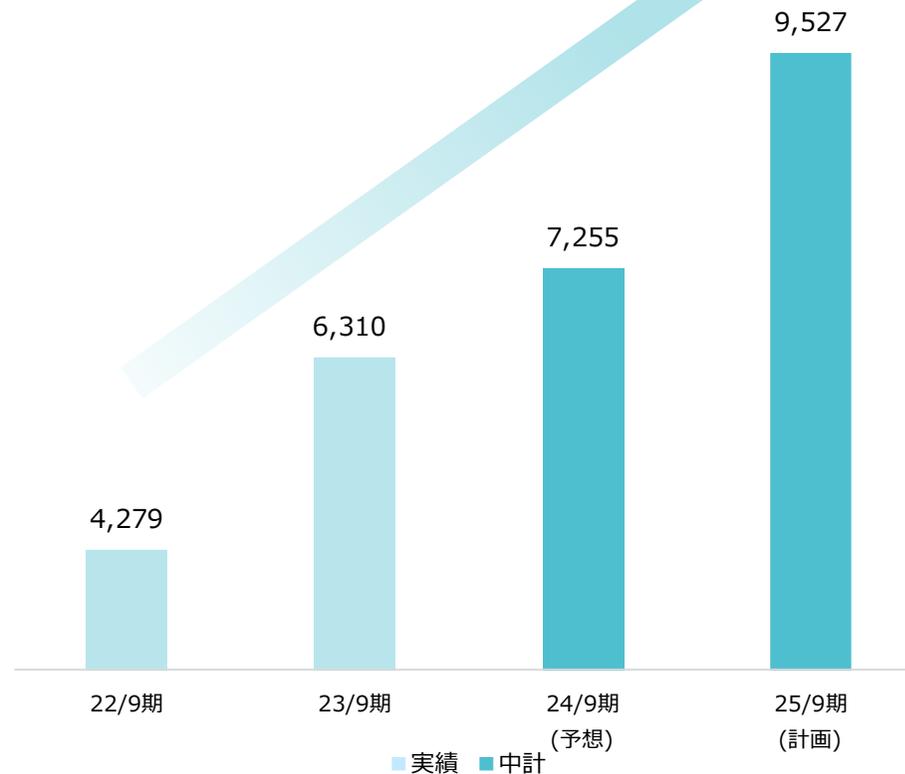
年平均成長率(1)
33.6%



当期純利益

(百万円)

年平均成長率(1)
30.6%



注：

1. 年平均成長率は22/9期から25/9期（計画）までの3年間の数値

3ヶ年計画「Amvis 2025」

(億円)	21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期
	通期	通期	通期	予想	目標
売上高	153.3	230.7	319.8	426.3	565.5
(対前年比)	+67.1%	+50.5%	+38.6%	+33.3%	+32.6%
EBITDA	43.3	69.6	98.3	123.4	166.0
(対前年比)	+100.7%	+60.8%	+41.1%	+25.5%	+34.6%
営業利益	37.8	61.3	86.3	105.0	139.5
(対前年比)	+101.7%	+62.0%	+40.7%	+21.7%	+32.9%
当期純利益	26.2	42.7	63.1	72.5	95.2
(対前年比)	+112.0%	+62.9%	+47.5%	+15.0%	+31.3%

注：
1. 当期純利益について、特別利益(四日市事業の譲渡益)を除く対前年比は、+40.8% (23/9期)、+20.4% (24/9期)

開設戦略 - 東京都 / 大都市圏 / 地方における特徴

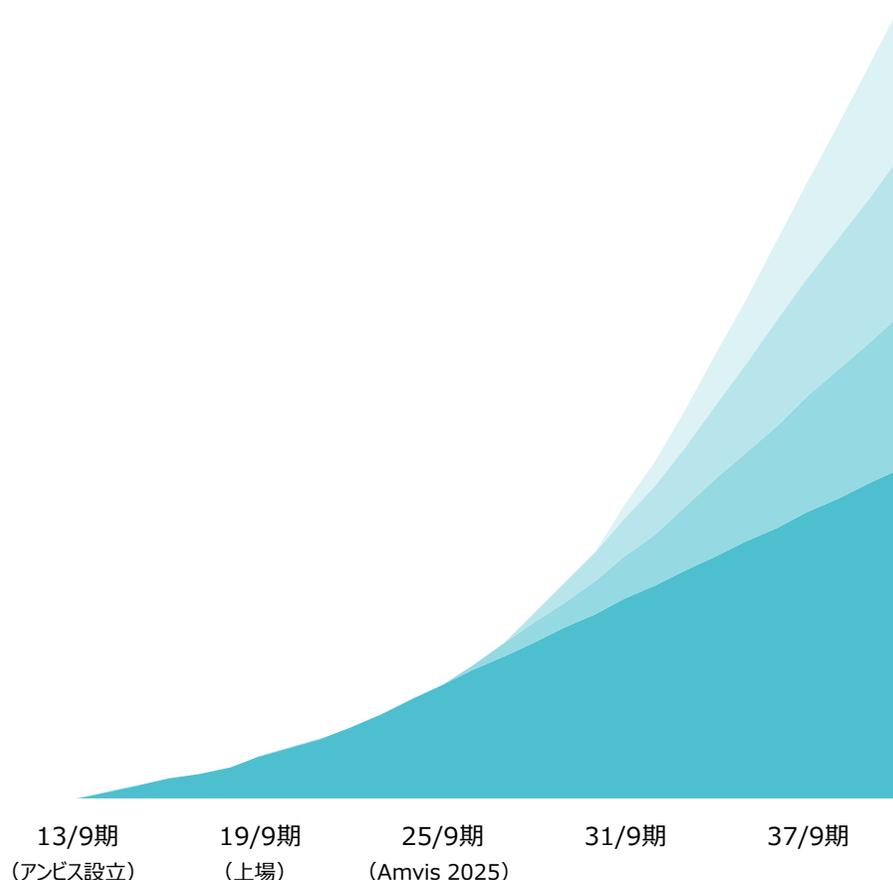
参考指標	市場規模 一都道府県あたりの 平均年間がん死亡者数 ⁽²⁾	開発費用/賃料 当社施設の 賃料・管理費 ⁽³⁾	看護師採用 一都道府県あたりの 平均就業看護師数 ⁽⁴⁾	医心館施設数 22年9月末時点⇒ 24年9月末時点 ⁽⁵⁾	Amvis 2025 (23/9期-25/9期)
東京都	 34,341人	 123,261円/部屋	 106,911人	 5施設⇒14施設 (+9施設)	シェア拡大を優先し 開設を加速 (+~15施設/3年)
大都市圏 ⁽¹⁾	 19,208人	 83,222円/部屋	 55,436人	 26施設⇒48施設 (+22施設)	従来同様のペースで 開設を継続 (+~60施設/3年)
地方 ⁽¹⁾	 5,454人	 54,991円/部屋	 21,039人	 27施設⇒42施設 (+15施設)	

注：

1. 大都市圏：埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県 / 地方：東京都と大都市圏を除く都道府県
2. 厚生労働省「人口動態調査 令和3年度」をベースに、各地域の死亡者数合計を都道府県数で除した数値
3. 当社HPに開示している各地域に所在する各施設の賃料・管理費の平均値（24/1/1時点）
4. 日本看護協会「看護統計資料」のI.就業状況 1.就業者数（6）都道府県別看護職員、人口対比（2021年）を基に、各地域の登録看護師・准看護師数合計を都道府県数で除した数値
5. 24年9月期末時点の施設数は、24年2月8日時点で開設決定を公表済の施設について集計した数値

- 医心館の運営等で獲得したノウハウを活用し、構造的に経営が困難とされているへき地での医療機関の総合的支援等含めた、周辺事業への展開を企図

中長期の成長戦略



保険報酬に依存しない事業の構築

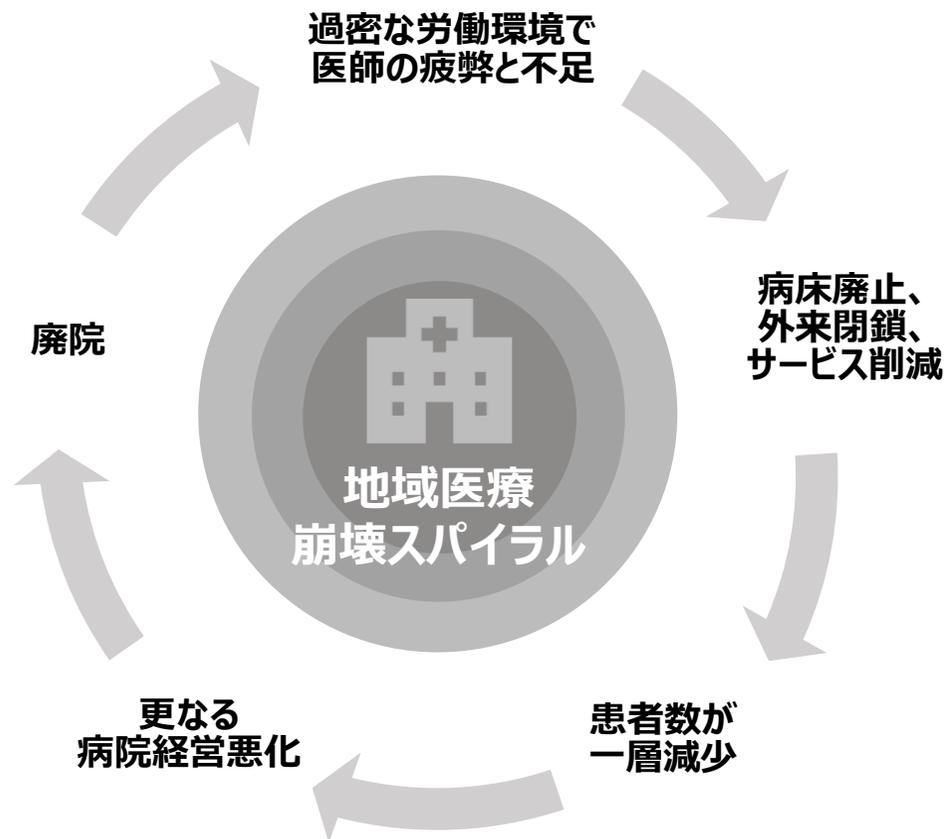
地域医療再生事業の構築

展開地域及び対象入居者層の拡大 (M&Aを含む)

既存医心館事業の拡大

- 病院経営が困難とされるようなへき地において、医心館スキームを活用することで、病院の再生・収益化を企図

医療へき地の病院の悪循環



医心館スキームの活用

慢性的な医師不足、医療資源の偏在などの要因を踏まえ、多くの病院が経営困難に陥り、地域医療の破綻につながりかねない状況

中核病院は急性期医療に対応し、その他の病院の病床の一部は、医師機能をアウトソーシングし、終末期の看護ケアに特化するホスピスに転換すると同時に在宅医療事業に注力

医心館の運営で得た、集患活動、異職種連携、コスト管理などのノウハウを用いて、病院経営をサポートし、地域医療活性化を企図

病床転換・ホスピス開設を中心とした主な支援内容

- 医心館運営を通じて得たノウハウ等を活用し、医療機関毎にテーラーメイドの経営支援を実施
- 資金面の支援もするものの、基本的には医師+看護師等の派遣による運営面での超ハンズオン型支援を実施

主な支援内容



病床転換



ホスピス開設



集患活動



人財派遣



コスト管理



管理会計・予実分析



メザニン融資



ファクタリング

TSR（株主総利回り）を重視した株主還元方針

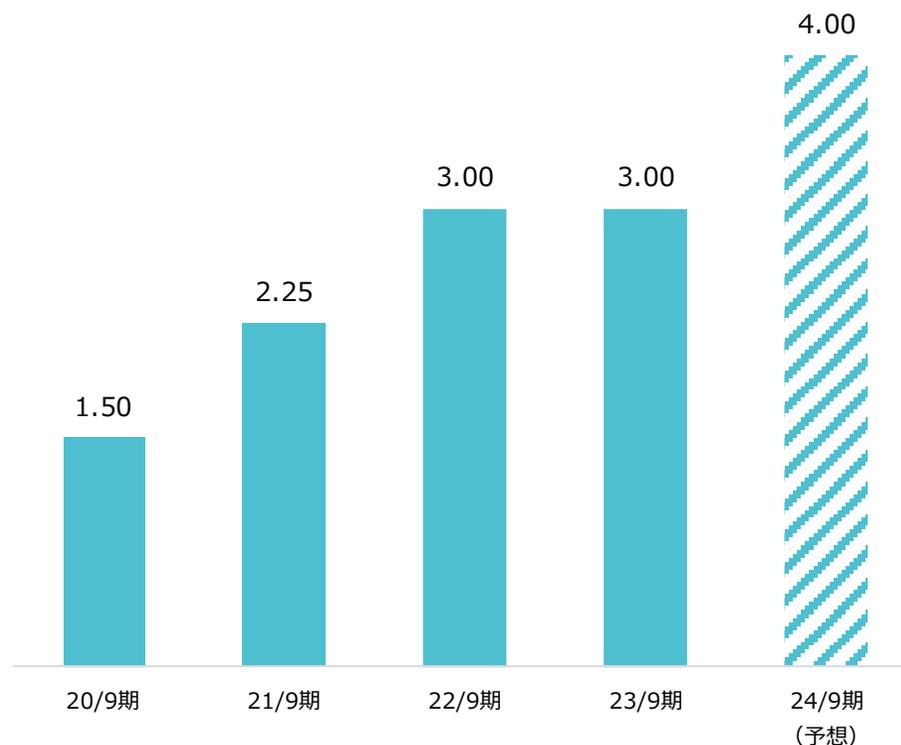
- 24年9月期の1株当たり配当金は、前年度対比1円増配の4円を予想
- 中長期的に、TSR（株主総利回り）を重視し、成長ステージの変化に関わらず安定した利回り提供を企図

株主還元基本方針

- 株主に対する利益配分を重要な経営課題として捉え、医心館事業及びその周辺領域への事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、株主還元を実施し、企業価値の向上を企図
 - 株主配当：安定的な株主配当を基本とし、市場環境、規制動向、財務健全性等、総合的に勘案し、年1回の期末配当を実施

1株当たり配当金の推移(1)

(円)



注：
1. 20年4月1日付、22年1月1日付、22年10月1日付の株式分割考慮後の1株当たり配当金を記載

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス 財務部（IR担当）

電話：03-6262-5085 / Email：ir_contact@amvis.co.jp